

平成 30 年度第 2 回横浜環境活動賞審査委員会 会議録	
日 時	平成 31 年 2 月 22 日 (金) 13 時 00 分～16 時 45 分
開 催 場 所	関内中央ビル 10 階大会議室
出 席 者	戸川孝則委員長、北村亘委員、石原信也委員、川崎あや委員、川村久美子委員、為崎緑委員
欠 席 者	磯崎保和委員
開 催 形 態	公開 (傍聴者なし)
議 題	1 応募者プレゼンテーション及び審査 2 生物多様性特別賞審査 3 第 26 回横浜環境活動賞受賞候補者の決定
決 定 事 項	1 以下の団体が、第 26 回横浜環境活動賞受賞候補者として決定した。 (1) 市民の部 ア 大賞 特定非営利活動法人森ノオト イ 実践賞 ハマの海を想う会 保土ヶ谷区民会議 (環境分科会) 横浜自然観察の森友の会 リバーサイドガーデン・フラワーズ (2) 企業の部 ア 大賞 株式会社太陽住建 イ 実践賞 アマンダリーナ合同会社 東芝環境ソリューション株式会社 横浜緑地株式会社 (3) 児童・生徒・学生の部 ア 大賞 横浜市立幸ヶ谷小学校 イ 実践賞 横浜市立本郷小学校 横浜市立南本宿小学校 (4) 生物多様性特別賞 横浜自然観察の森友の会
議 事	1 応募者プレゼンテーション及び審査 (戸川委員長) 審査委員会の進行について、事務局から説明をお願いします。 (事務局) これより、応募者の皆様にプレゼンテーションを行っていただきます。 プレゼンテーション終了後、質疑応答、意見交換を行います。審査委員の皆様は、意見交換の後、お手元の事前採点表の点数を修正してください。25点満点中平均点15点以上を実践賞の候補者とし、最高得点を大賞の候補者とします。 生物多様性特別賞については、事前審査にて推薦のあった応募者について討議し、ふさわしいと考えられる応募者を 1 者、選んでいただきます。プレゼンテ

ーションの時間は3分間、質疑応答の時間は5分間です。質疑応答終了後、発表者の方はすみやかに自席にお戻りください。事務局からの説明は、以上です。  
(戸川委員長) 今の説明に対し、審査委員の皆様、応募者の皆様、何かご質問がありますでしょうか。ないようですので、プレゼンテーションを始めたいと思います。

なお、本日、磯崎委員がご欠席ですが、書類による事前審査で採点いただいた点数を磯崎委員の点数として集計するという点でよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし

(1) 児童・生徒・学生の部

横浜市立幸ヶ谷小学校

(応募者) プレゼンテーション

<質疑応答>

(北村委員) 海にはいろいろな生き物がいますが、魚やカニなどだけでなく、小さな生き物にも興味を持っていますか。環境学習という点では、多様な生き物について学んでほしいと思います。

(応募者) 子どもたちは、ゴカイというミミズのような生き物にも興味を持って、探しています。ゴカイの役割も調べ、理解しています。

<意見交換>

(石原委員) 低学年にも参加が広がると良いと思います。

(川崎委員) 担当教員が替わると引き継がれるかが気になります。輪を広げる工夫をしてほしいです。

(川村委員) 地域の自然に着目し続けているのは良いと思います。生徒中心なもの評価できます。

(委員) 採点

横浜市立南本宿小学校

(応募者) プレゼンテーション

<質疑応答>

(石原委員) SDGsの視点の持ち方はどのように学習しているのでしょうか。

(応募者) 5年生の宿泊学習で、足尾銅山を教材として取り上げて学習しています。

(川村委員) すべての学年を巻き込んだコンセプト作りはどのように行っているのでしょうか。

(応募者) 低・中・高学年の教員全体で議論しています。

<意見交換>

(川崎委員) この取組がコミュニティにどう波及するのでしょうか。また、学校周辺にどんな影響を与えているのでしょうか。

(川村委員) 人間活動、経済活動に波及していると思います。

(委員) 採点

#### 横浜市立本郷小学校

(応募者) プレゼンテーション

##### <質疑応答>

(川崎委員) 地域の環境の問題にどう視野を広げていき、学校の活動を地域にどう開いていきますか。

(応募者) 学校の自然の豊かさを地域の方々にも還元したいのですが、防犯上地域の方々に学校に入ってもらうことは難しく、それが課題になっています。

(為崎委員) 外部とのディスカッションをどうやっているのでしょうか。

(応募者) 学校運営協議会や、おやじの会で意見をもらっています。また、保護者の中に自然環境に専門的な知識を持っている方がいるので意見交換をしています。

(戸川委員長) 児童もトンボがいることに気付いていますか。

(応募者) 鳥、トンボ、その他の昆虫がいることに気付いています。

(川村委員) 教員間での引継はどのようにしていますか。

(応募者) 朝会で情報を共有しています。

##### <意見交換>

(北村委員) 活動開始のきっかけは校長先生で、今年で5年目ということですが、これからどうやっていくのでしょうか。

(戸川委員長) 応募書類上は教員主導に思えたが、プレゼンを聞き、児童の自主性が感じられました。

(委員) 採点

#### (2) 企業の部

#### 株式会社太陽住建

(応募者) プレゼンテーション

##### <質疑応答>

(川村委員) 社内のポリシーと実績を聞かせてほしいです。障がい者の直接雇用はしないのですか。

(応募者) 工事のスーパー部隊を作ることです。また、障がい者のキッズニアを目指しています。

(北村委員) 屋根貸しマッチングはオリジナルの取組ですか。

(応募者) 神奈川県の実業です。

**<意見交換>**

(北村委員) 環境活動としてどう評価するか。複数の問題を組み合わせて同時解決しようとするところに未来を感じます。

(為崎委員) この仕組みの中の太陽住建の責任範囲はどこでしょうか。社会貢献と利益を持続し、安定継続してほしいと思います。

(戸川委員長) 環境から異なる分野へのリーチとなっている点が良いと思います。

(川村委員) アルバイトではなく正規社員の道の模索ができると良いと思います。また、労働者の意見が事業に反映される仕組が望まれます。

(委員) 採点

**東芝環境ソリューション株式会社**

(応募者) プレゼンテーション

**<質疑応答>**

(北村委員) 貴社のような大企業であれば、書いていない取組がもっとあるのではないのでしょうか。

(応募者) 家電リサイクル法に対応しています。工場見学も行っています。

(為崎委員) 市内の中小企業にメリットはあるのでしょうか。

(応募者) これから中小のリユースにも波及していけるようにしたいと思っています。

(川村委員) PCBの現地での処理がユニークということですが、どのような点でユニークですか。

(応募者) 全国的に見ても10社しか行っていない技術で、イタリアの最先端技術です。

**<意見交換>**

(戸川委員) これが横浜の環境にどうリンクし、波及していくのでしょうか。

(川村委員) 大企業とそうでない企業が並んだとき、その取組をどう見るのでしょうか。地域への波及やコミュニティへの貢献があってもよいと思いました。

(委員) 採点

**アマダリーナ合同会社**

(応募者) プレゼンテーション

**<質疑応答>**

(川崎委員) 持続可能な事業としてどう成長させるかですが、ボランティアはどれくらいいるのでしょうか。

(応募者) 85人です。

(為崎委員) 原材料の安定的な供給が難しいように思います。大量注文に対応できるのでしょうか。

(応募者) 活動4年目を迎え、摘果みかんを活用するという取組に賛同する農家が増えてきています。

<意見交換>

(北村委員) 2、3年後だと評価しやすかったですが、やる気は評価に値すると思います。NPO 法人になってもよいのではないかと思います。

(川崎委員) 活動はユニークで先駆的ですが、人件費が出ていません。新しい仕事にしてほしいと思います。

(川村委員) 食品ロス視点でもよい取組だと思います。

(為崎委員) テーマは良いですが、事業としては難しい側面もあると思います。一つのことを成功させて、次のことにつなげていただきたいです。

(委員) 採点

横浜緑地株式会社

(応募者) プレゼンテーション

<質疑応答>

(北村委員) いつから何を始めたのですか。

(応募者) 植物を大切に活動として、高齢世帯から、育てきれない植物をお預かりし、貰い手と結びつけたら好評でした。

(川崎委員) 指定管理業務の中で最初から環境配慮型の事業を行ってきたのですか。

(応募者) 途中から始めました。他には手話通訳にも取り組んでいます。

(為崎委員) ミツバチの活動は、指定管理業務の枠内の活動ですか。

(応募者) 企業のCSRとして行っています。

<意見交換>

(為崎委員) 指定管理という点で、取り組みやすさに恵まれているように思います。

(委員) 採点

(3) 市民の部

特定非営利活動法人 森ノオト

(応募者) プレゼンテーション

<質疑応答>

(川村委員) 情報発信の効果を知りたいです。NPOを立ち上げた後、5年の成果はどのようなものですか。

(応募者) エコロジーの目を持ったライターが育成できています。

(為崎委員) 地域との連携の内容はどのようなものですか。

(応募者) 講師として地元の方を呼んでいます。

<意見交換>

(戸川委員長) メディアとの連携が進むとよいと思います。

(委員) 採点

ハマの海を想う会 ※都合により欠席のため、審査委員による審議のみ。

<意見交換>

(北村委員) 多くの人が集まっている活動なので、次にどんなことを考えているのか聞きたかったです。

(川崎委員) マリンレジャー愛好者がこういうことを試みたのは評価したいです。

(川村委員) 手弁当で事故が起きたらどうするか。組織体制と責任の所在を考えてほしいと思います。

(為崎委員) 高島水際線公園愛護会とハマの海を想う会の関係性をすっきりと整理できるとよいのではないのでしょうか。持続の基盤づくりが必要だと思います。

(戸川委員) マリンレジャーからのネットワーク化を評価したいです。

(委員) 採点

横浜自然観察の森友の会

(応募者) プレゼンテーション

<質疑応答>

(北村委員) にぎわいのある森とはどのようなものですか。

(応募者) 森林以外の水辺・草地の保全に加え、自然推移に任せた環境づくりなどです。

(石原委員) 周年記念事業はどのようなものですか。

(応募者) 講演会の開催などです。

(川崎委員) 応募書類に会員が減ったとありますが、実働的なメンバーに絞ったので減ったということでしょうか。

(応募者) 実働してくれる人に絞ったところ減りました。

(川村委員) 専門家が環境教育を行っているのか。

(応募者) 自然観察の森は、行政、自然保護のプロ集団である日本野鳥の会、市民ボランティアの三者が関わって運営されています。

<意見交換>

(北村委員) プレゼンテーションは短い時間ですが、アピールが足りていませんでした。保全管理計画や生きもののにぎわいについて教えたり、よい取組がたくさんあるのを知っているので、もっとアピールしてほしいです。

(川崎委員) 応募用紙の内容からは、日々の具体的な活動の様子が十分に伝わってきませんでしたが、添付された資料を拝見すると、多彩な活動をされているこ

とがわかりました。地域の団体との交流があまりないようですが、他の団体と交流して切磋琢磨することも必要だと思います。

(委員) 採点

#### 保土ヶ谷区民会議（環境分科会）

(応募者) プレゼンテーション

##### <質疑応答>

(川崎委員) 区民会議としての構造的な難しさがありますが、全員が団体からの推薦なのでしょうか。活動を見て、自分も入りたいと思った人は参加できるのでしょうか。

(応募者) 区内の団体の推薦で80人前後います。公募もしています。

(為崎委員) 区民全体への伝え方の工夫としてどのようなことを行っていますか。

(応募者) 年1回の区民会議での周知や、配食活動の際に伝えています。

(為崎委員) 若い世代への呼び掛けはどのようにしているか。

(応募者) 現在、会員の主力は60～70代であり、20代は1人、30代は2人となっております。なかなか難しいと思っています。

##### <意見交換>

(川崎委員) これまで区民会議の応募はなかったのではないのでしょうか。区民会議が行っているというところを、どう評価するのか難しいと思います。

(川村委員) 私は、区民会議という地域の組織が行っているという点が評価できると思います。区民会議として大きく展開できる可能性があると思います。

(委員) 採点

#### リバーサイドガーデン・フラワーズ

(応募者) プレゼンテーション

##### <質疑応答>

(北村委員) ボランティアはどういうふうに参加してくるのですか。

(応募者) 花に関心を持って入ってくる方がいます。

(北村委員) 花はどれぐらいの頻度で植えていますか。

(応募者) 年2回です。3月2日には鑑賞会を開催予定です。

(石原委員) 地域の方の参加の様子はどうか。

(応募者) 防犯の方も参加しています。

(川崎委員) 親子の参加は可能ですか。

(応募者) 可能です。

(川村委員) 活動に参加しているのはコアのメンバーだと思いますが、何人ぐらいですか。

(応募者) 25人ぐらいです。  
(川村委員) 日常活動は何人ぐらいで行っていますか。  
(応募者) 最低5人、多いと70～80人で活動しています。  
(為崎委員) 参加者同士の交流はありますか。  
(応募者) 活動の後、人の輪が広がっています。

#### <意見交換>

(北村委員) 防犯と環境をミックスさせた取組をうまく進めてほしいと思います。  
(川崎委員) 地道な努力が必要ですが継続してほしいと思います。  
(為崎委員) 町内会にがっちり関わってなくても、団体につながるような仕組みがあるとよいと思います。

(委員) 採点

### 3 生物多様性特別賞審査

(戸川委員長) 「生物多様性特別賞」について審議します。事前審査の結果について、事務局から説明をお願いします。  
(事務局) 事前審査における生物多様性特別賞への推薦は、横浜市立幸ヶ谷小学校が3票、横浜自然観察の森友の会が3票、該当なしが1票となっております。  
(戸川委員長) では、審議をいたします。ご意見ををお願いします。

#### <意見交換>

(北村委員) 該当なしとしたのは私です。今回の応募者の中から候補を挙げるなら、横浜自然観察の森友の会か横浜市立幸ヶ谷小学校になると思いました。しかし、今までの生物多様性特別賞受賞者に比べて、どちらも取組内容が弱いように思います。横浜自然観察の森には私自身、研究室の関係で現場に行くのでよく知っていますが、横浜自然観察の森友の会は、応募用紙に書けることがもっとあったように思います。また、横浜市立幸ヶ谷小学校も海水槽の取組をしているようですが、それだけでは物足りないと思いました。しかし、質疑応答の際、すぐに「ゴカイ」と答えてくださって、事前審査のときよりも印象がよくなりました。

(委員) 採点

### 4 第26回横浜環境活動賞受賞候補者の決定

(戸川委員長) 受賞候補者の決定を行います。はじめに、児童・生徒・学生の部について、事務局から集計結果を報告してください。  
(事務局) 採点結果を表示  
(戸川委員長) 審査基準に基づき、3団体とも15点以上ですので、実践賞の候補とします。  
(委員) 異議なし



	<p>(戸川委員長) 次に大賞候補です。審査基準により、点数が一番高い者が大賞候補となりますので、最高得点の横浜市立幸ヶ谷小学校を大賞候補とします。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>(戸川委員長) 次に企業の部の結果をお願いします。</p> <p>(事務局) <b>採点結果を表示</b></p> <p>(戸川委員長) 4企業とも15点以上ですので、全て実践賞の候補とします。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>(戸川委員長) 大賞候補は、最高得点の株式会社太陽住建とします。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>(戸川委員長) 次に、市民の部の結果をお願いします。</p> <p>(事務局) <b>採点結果を表示</b></p> <p>(戸川委員長) 審査基準に基づき、5団体とも15点以上ですので、実践賞の候補とします。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>(戸川委員長) 大賞候補は、最高得点の特定非営利活動法人 森ノオトとします。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>(戸川委員長) では、生物多様性特別賞の集計結果をお願いします。</p> <p>(事務局) 横浜市立幸ヶ谷小学校が3票、横浜自然観察の森友の会が4票です。</p> <p>(戸川委員長) では、生物多様性特別賞の候補は、横浜自然観察の森友の会とします。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>(戸川委員長) これですべての審査を終了しました。何かご意見があればお願いします。ないようですので、以上で議事を終了します。事務局に戻します。</p> <p>(事務局) 本日の会議録については、公表となります。また、応募書類につきましては、規約・定款、役員名簿、収支書類及び個人情報を除いて、ホームページに掲載させていただきます。ご了承くださいませよう、お願いいたします。</p> <p>本日の審査委員会の審査をふまえ、市長が受賞者を決定します。詳細については、別途ご連絡いたします。事務連絡は、以上です。</p> <p>審査委員の皆様並びに応募者の皆様には長時間にわたるプレゼンテーション及び審議をいただき、ありがとうございました。以上をもちまして、第26回横浜環境活動賞審査委員会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次第</li> <li>2 資料1 横浜環境活動賞審査委員会 委員名簿</li> <li>3 資料2 横浜環境活動賞実施要綱</li> <li>4 資料3 横浜環境活動賞審査委員会運営要綱</li> <li>5 資料4 審査基準 (市民の部/企業の部/児童・生徒・学生の部/特別賞)</li> <li>6 資料5 応募者一覧 (プレゼンテーション 発表順)</li> <li>7 (参考資料) これまでの受賞者一覧</li> </ol>